

日本初の「惑星学専攻」の設置

理学研究科地球惑星科学専攻長 巽好幸
078-803-6643
tatsumi.eps@aquamarine.kobe-u.ac.jp

1. 内容：

神戸大学では1973年に、当時地球科学にパラダイムシフトを起こしつつあった「プレートテクトニクス」の概念を他大学に先駆けて取り入れ、地質学・地球物理学の各分野が学際的な教育・研究を行うことを狙いとして「地球科学科」を設置しました。その後さらに、地球科学科に太陽系・宇宙物理学分野を加え、太陽系惑星・地球現象の連続的な取り扱いを指向し、国内で最も地球科学と惑星科学の融合に成功した大学となっています。神戸大学では、このようなパイオニア精神をさらに発展させ、特徴ある「知の拠点」を形成することを目指して、平成27年度より大学院理学研究科地球惑星科学専攻を改組して、日本初の「惑星学専攻」を設置致します。

「惑星学(Planetology)」は、「地球科学」と「惑星科学(Planetary Sciences)」を融合した、より包括的な意味を持ちます。さらにこの名称には、「この惑星はなぜ地球なのか？」(太陽系惑星の中でなぜ地球にだけ水が存在し、生命が永続的に存在し、プレートテクトニクスが存在するのか？また、その水はどこから来たのか？)という根源的な問いに答えを出したいという思いが込められています。

惑星学専攻では、(1)多様な惑星現象に関する広範な視野、多様な手法を用いた解析能力と論理的思考力、そして豊かな感性とグローバルな視点を備えて、社会の発展を牽引する「高度専門職業人」の育成と、(2)近視眼的先端研究ではなく、新たな研究領域を開拓する「独創的研究者」の育成を教育の目標として設定し、海洋・宇宙立国を牽引する人材を輩出して行きたいと考えています。また、世界的な大型観測プロジェクトを主導する海洋研究開発機構・国立天文台・宇宙航空研究開発機構、および大学との連携により、国内における研究・教育拠点を形成したいと考えています。

日本初の「惑星学専攻」の今後の取り組みにご注目下さい。

2. 新規性：

神戸大学が日本初の「惑星学専攻」を設置し、研究・教育の目標を明瞭に定め、特徴ある「知の拠点」を形成すること。

日本初の「惑星学専攻」を設置

神戸大学大学院理学研究科地球惑星科学専攻の名称変更・改組

◎これまでの経緯と背景

- ◆1973年 地球科学科設置
 - 地質学・岩石鉱物学・地球物理学・海洋科学・地球化学による学際的研究・教育
 - 国内地球科学科のパイオニア的存在
- ◆1993年 地球惑星科学科に改組
 - 地球科学と太陽系・宇宙物理学の融合による研究・教育
 - 国内では希有な、名目的ではなく実質的な地球惑星科学科
- ◇学部学生の殆どが修士進学、その後就職
- ◇国立大学の在り方に関する社会的要請：神戸大学の特色は何か？

◎名称変更・改組のねらい

- ◆特徴ある「知の拠点」を形成
 - 社会の発展と独創的な研究を牽引する人材の育成
 - 国内の地球科学教室のパイオニアとして新たなステージへ

◎名称変更・改組の要点

- ◆日本初の「惑星学専攻」の設置
 - この星はなぜ地球なのか？：地球・惑星・太陽系の進化を包括的に捉える視点。
 - 地球科学・惑星科学・宇宙科学の融合（輻合）
- ◆「見識を備えた高度専門職業人」と「独創的研究者」の育成
 - 多様な惑星現象に関する広範な視野、多様な手法を用いた解析能力と論理的思考力、そして豊かな感性とグローバルな視点を備えて、社会の発展を牽引する「高度専門職業人」の育成。
 - 近視眼的先端研究ではなく、新たな研究領域を開拓する「独創的研究者」の育成。
- ◆海洋・宇宙立国を牽引する人材の育成
 - 世界的な大型観測プロジェクトを主導する海洋研究開発機構・国立天文台・宇宙航空研究開発機構、および大学との連携により、国内における研究・教育拠点を形成。

◎講座と教育研究分野の再編

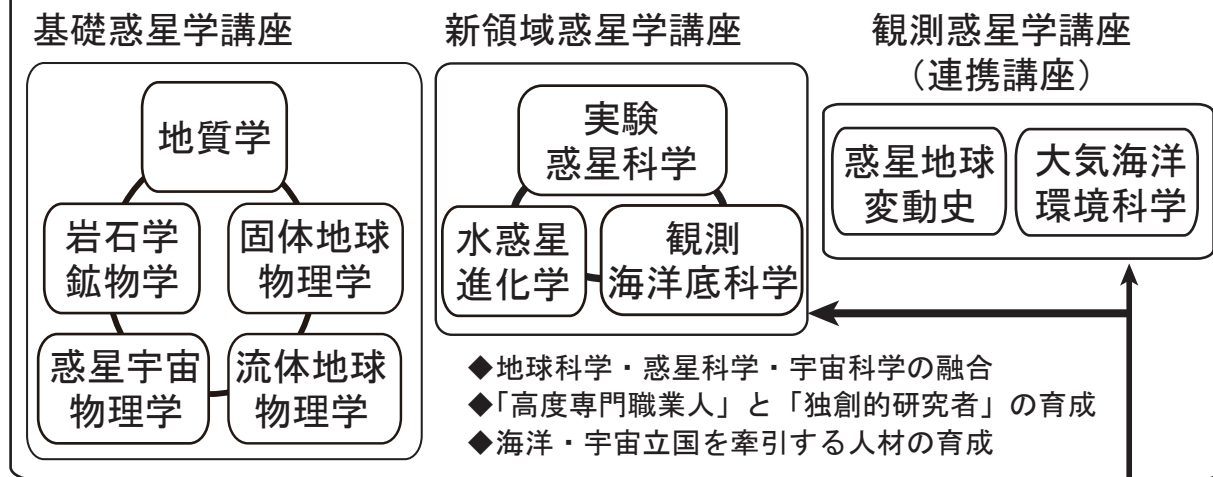
地球惑星科学専攻（名称変更前）

- ◆地球科学講座
地震学、地球環境進化学、大陸・海洋底ダイナミクス、マグマ学、地球及び惑星大気科学
- ◆惑星科学講座
惑星宇宙物理学、実験惑星科学、非線形科学、惑星物質科学、
- ◆連携講座
大気海洋環境科学、惑星地球変動史

惑星学専攻（名称変更後）

- ◆基礎惑星学講座
 - 惑星学の基礎となる分野
 - 基本的に各分野3名配置
- ◆新領域惑星学講座
 - 新分野開拓や国内研究教育拠点となる分野
 - 基本的に各分野2名配置
 - 分野の存続・新設は適宜判断
- ◆連携講座
 - ナショナルセンターとの連携による大型観測プロジェクトに関連した分野

惑星学専攻



海洋研究開発機構、国立天文台
宇宙航空研究開発機構、大学